

一般質問通告書一覧表

令和4年9月6日招集
第17回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5番 花城勝男	1. 都市計画 マスタープラン及び人口減少対策を問う	<p>我が町は町域の約82%が米軍基地に占有されており、約2.7平方キロメートルの狭隘な土地に、13,248人が居住している。実質人口密度は4,906人/1平方キロメートルであり、那覇市・浦添市・宜野湾市に次ぐ人口密度の高い区域になっている。</p> <p>嘉手納町都市計画は町づくりの基本方針であり1994年策定に続き、12年後の2006年都市計画マスタープランが策定され、第4次・第5次総合計画に基づく事業で町づくりを着実に推進し、多大な成果を上げている。更に行政は2021年度都市計画マスタープランの改定業務を15年ぶりに着手し、現計画の検証や住民アンケート調査を行なっている。2022年度は都市計画改定に向けた各種委員会、ワークショップ等の開催を行い、都市計画の基本的な方針を定める改定作業をすすめている。ついては以下を問う。</p> <p>(1) 今回の都市計画マスタープランの概要と改定作業期間は。</p> <p>(2) 現都市計画マスタープラン(2006年策定)の検証と、2021年度住民アンケート調査の概要と進捗状況は。</p> <p>(3) 2022年度の都市計画マスタープラン方針改定に対して、町民や専門家等の具体的意見衆知を集めるための、各種委員会とワークショップの概要と進捗状況は。</p> <p>(4) 2022年度は人口減少対策住環境整備検討策定作業を完結し、2023年度4月より人口減少対策として、ハード事業及びソフト事業(子育て支援等)でどのように具現化する考えか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	<p>1. 都市計画マスタープラン及び人口減少対策を問う</p> <p>2. 子育て支援による人口増取り組みを</p>	<p>(5) 人口減少対策住環境整備検討業務事業策定を進めつつ、更に定住促進事業を5年以上事業継続する事により、転出抑制や転入促進の成果に繋がると考える。よって、去った6月定例議会で質問をした、5年間限定の定住促進事業（新築住宅等取得補助金事業・建物除去補助金事業）の2021年度中止を、2022年度10月か2023年度4月より事業の再スタート要請に対して、再実施か中止か明瞭な答弁を。</p> <p>りゅうぎん総合研究所は、沖縄県の人口は2021年をピークに、人口減少の局面に入り少子高齢化社会に突入するとの見通しを示した。我が町の人口も社会減・自然減で人口減少が続いており、地域コミュニティ・自治会の住民組織の担い手不足が各方面に悪影響があり、以前より共助機能が低下しつつある。さらにコロナ禍の活動制限が拍車をかけている。少子高齢化による人口減少が進むことによって、社会保障費関連の負担は増加し、税収の減少も見込まれる。また、少子化は適正な保育・学校規模の維持ができず、将来的には統廃合是非の検討も必要になってくる。このような状況下で、住宅環境等の整備や子育て支援及び総合計画に基づく事業推進により、行政総力を挙げて人口減少に歯止めをかける必要がある。ついては、総合計画の観点から子育て支援による人口増取り組みについて以下を問う。</p> <p>(1) コロナ禍等での、直近5年間の出生率（出生数）は。及び少子化に伴う人口減少の現状と課題は。</p> <p>(2) 少子化による5年後、10年後の保育所と幼稚園及び小学校の適正規模は。また、現状と課題は。</p> <p>(3) 人口増取り組みとして、①0歳から2歳までの所得制限なしの保育利用料の無償化。または、②所得制限なしで第2子からの保育利用料無料</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	5 番 花城勝男	2. 子育て支援による人口増取り組みを 3. かでな未来館完成に伴い、役場駐車場増設を問う	<p>化が実施できないか。また、①②の保育利用料に掛かる概算年間予算は。</p> <p>(4) 人口増取り組みとして、複数の議員が高校生医療費現物給付事業を提案している事に対し、長年に渡り前向きに検討するとの答弁を頂いている。ついては、実施時期の明瞭な答弁を。</p> <p>(5) 第5次総合計画の観点から、少子化に伴う人口減少は嘉手納町の喫緊の課題である。来年2月に4期目の挑戦を表明している當山町長として、子育て支援による人口増取り組みの考え方と重点的取り組みは。</p> <p>(1) かでな未来館建設期間での町役場駐車場の混み具合状況と、町民からの苦情は。</p> <p>(2) 中央公民館及び文化センターのイベント開催実施に伴う、役場駐車場の混み具合の現状把握と改善策は。また、今後のかでな未来館イベントが重なった場合、役場駐車場の混み具合の見通しは。</p> <p>(3) 役場駐車場及び東、中央駐車場等に高層駐車場や地下駐車場の建設及び、その他の手法で駐車場設置が必要と考えるが、駐車場拡大の必要性の考え方と、今後の方針は。</p> <p>(4) 役場駐車場及び東、中央駐車場等の混み具合の調査や長期的な駐車場規模の必要性に対して、予算を計上し調査会社に委託しては。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
2	11 番 當山 均	1. 「パパーループ地区一角への防錆整備格納庫移設計画」撤回に向け、今後の具体的な取り組み等を問う	<p>町長が上京し外務・防衛両省を訪ね移設計画撤回を求めた8月10日、米国防総省が地元紙の取材に対し「パパーループ一角にある緑地帯で進められている文化財調査は防錆整備格納庫建設を前提とした準備作業であることを認めた」との報道があった。</p> <p>米国防総省によると、文化財調査は現在緑地となっている12,000平方メートル内の16カ所で約5カ月間実施。その後、既存のフェンスを取り払</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	11 番 當山 均	<p>1. 「パパーループ地区一角への防錆整備格納庫移設計画」撤回に向け、今後の具体的な取り組み等を問う</p> <p>2. 2022 全国学力テスト結果を踏まえ、本町児童・生徒の学力定着度等を問う</p>	<p>って緑地帯を整地し、約 60 ヶ月以内に施設 2 棟を建設する工程とのこと。また、緑地帯から文化財等が発掘された場合は準備期間を変更する可能性はあるとした一方、「建設計画そのものを見直す可能性は低いだらう」との見解を示したことから、移設計画を撤回させるには、町は町、議会は議会だと独自に動くだけでなく、町基地対協・自治会長会など町内各種団体と連携して一体となり取り組まなければならない喫緊の重要案件であると危機感を抱いている。</p> <p>ついては、移設計画撤回に向け、今後の取り組み体制及び具体的な行動方針等を問う。</p> <p>今年 4 月、全国の小学 6 年生と中学 3 年生の全員を対象に実施した 2022 年度全国学力・学習状況調査（以下「全国学力テスト」という）の結果が 7 月末に公表された。その結果を踏まえ、本町児童・生徒の学力定着度、課題、今後の取り組み方針等を問う。</p> <p>(1) 全国学力テスト対象である小学 6 年生・中学 3 年生の人数、実際にテストを受けた人数は。</p> <p>(2) 識者によると「2021 年度はコロナ感染拡大により臨時休校等により授業日数が少なくなるなど、長引くコロナの影響が表れている」との指摘もあるが、本町小学校・中学校別の臨時休校日数は。また、本町における調査結果にも臨時休校等により授業日数が少なかったことが影響しているのか。</p> <p>(3) 調査結果によると、本県の平均正答率は小学校（国語 63%、算数 59%、理科 61%）、中学校（国語 64%、数学 59%、理科 44%）とのことだが、本町における小学校・中学校各科目の平均正答率は。近年における県平均・全国平均と比較したポイント差の推移は。（概要で可）</p> <p>(4) 全国学力テストと一緒に児童生徒への質問紙調査で「各科目への理解度」、「勉強は好きか」、</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	11 番 當山 均	2. 2022 全国 学力テスト 結果を踏ま え、本町児 童・生徒の学 力定着度等 を問う 3. 町営住宅 において公 募せず留保 している戸 数の増加傾 向に関し	<p>「家にて自分で計画を立てて勉強しているか」、 「学校に行くのは楽しいか」等の問いもあった が、本町児童・生徒における回答の割合は。(概 要で可)</p> <p>(5) 「授業でパソコンやタブレット等の情報通信 技術（I C T）機器をどの程度使ったか」との 問いに対する本町小学校・中学校における I C T活用頻度の回答は。(概要で可)</p> <p>(6) 地元紙に「児童生徒の新聞を読む頻度と各教 科の平均正答率を分析したところ、全般に頻度 が下がるにつれて正答率が低くなる傾向があっ た」との記事が掲載されており関心を抱いてい る。 本町においても、調査結果をもとに新聞を読 む頻度と正答率の相関関係を分析することは可 能か。</p> <p>長期に及ぶコロナ感染拡大の影響により経営状 況の悪化、事業縮小及び倒産等により解雇、休業 または短時間労働を強いられ報酬減少などで生活 に困っている住民が多数いらっしゃる昨今、町民 に何ら説明もせず公募にかけず長期間留保してい る戸数の増加傾向に疑義を抱き次の質問を行う。</p> <p>(1) 屋良・水釜高層町営住宅において、現在、入 居者が退去しても公募せずに留保している戸数 は。</p> <p>(2) 留保し長期間経過している部屋もあると聞 く。留保している部屋の最長期間は。また 1 年 以上、半年以上、半年以内別の戸数は。</p> <p>(3) 直近の町営住宅を公募した年月、公募戸数、 応募者数及び当選率は。</p> <p>(4) 数多くの部屋を留保している理由は。また根 拠となる条例・規定は。</p> <p>(5) 最大何戸まで、またいつまで（終了期間）留 保する方針か。</p> <p>(6) 家賃は納付しているが、長期間生活実態がな</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	11 番 當山 均	3. 町営住宅 において公 募せず留保 している戸 数の増加傾 向に関し	<p>い入居者がいると聞く。その事実関係の説明を 求める。</p> <p>(7) 町営住宅管理員及び管理人規則に基づき、町 営住宅ごとの管理人の人数を問う。</p> <p>また、「管理人の報酬は月額 1 万円とする」と 規定しているがこの額の根拠は。各住宅で戸数 は異なるのに管理人の報酬額は同額で良いの か。</p> <p>報酬額については平成 18 年に改正されてい るらしいが既に 16 年も経過している。管理人か ら増額要請や課内で検討したことはあるか。</p>	町長 當山 宏
3	12 番 金城利幸	1. 全町民の 強硬団結で 住宅地に接 近する防錆 整備格納庫 建設の断固 阻止を	<p>住宅地に接近する防錆整備格納庫建設の断固阻 止を目的に行政・議会・町内各組織をはじめ全町 民の強硬団結と行動を適時に実施する事を強く求 めて提起したい。</p> <p>その結果・集約を受けて行政当局はじめ本町議 会では県・日米関係省庁への「工事撤回を求める 要請行動のさらなる強化」が求められてくると考 える。</p> <p>同時に集約された町民の声を「多様な手法」で 県内外に強力に発信し、嘉手納町民のこれまでの 基地被害に加え、さらなる生活環境破壊の不安を 余儀なくされる町民の窮状を訴える「新たな行動」 も重要な事案と考える。</p> <p>當山町長はマスコミ取材に対して「これ以上の 負担を町民が負うことは許せない」「現在の計画で 整備が強行されれば町民との信頼関係が失われ る。町民から撤去、抗議の声が止むことはないだ ろう。」と力強い主張。私も賛同する。その一方で 報道によると米国防総省は建設を前提とする準備 作業を進めている事が明らかになった。</p> <p>町民にとってこのような異常事態での沈黙は容 認となる危険性が想定される。断固として阻止せ ねばならない。</p> <p>全町民のこの悲痛な声を関係機関はもとより県</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	12 番 金城利幸	<p>1. 全町民の強硬団結で住宅地に接近する防錆整備格納庫建設の断固阻止を</p> <p>2. 防錆整備格納庫建設関連の要請行動での不明点・疑問点の確認を</p>	<p>内外に向けて発信するそのタイミングは今だと断言する。さらにこのまま建設が進めば町内要所において「建設反対の意思表示旗」や「建設反対運動行為」も起きてくる可能性が高いことは過去の経験からみて当然の理である。</p> <p>もちろん、このような活動は現在のコロナ禍の環境の中では人々の安全性を基本とし合理的・効果的な手法が条件となることは周知のとおりである。この一連の動向を注視し今後の対処方について當山町長の所見を伺いたい。</p> <p>現在、行政当局や議会では関係機関への要請行動が始動しているが、要請先の対応説明にいくつか理解不明な点があり確認の必要があるのでは。共に行動し以下確認究明をしたいが行政当局の見解は。</p> <p>(1) E-3 早期警戒機（大型機）は今日に至るまでどこで防錆整備を実施していたのか。</p> <p>①嘉手納基地内の屋外での実施だったのか。</p> <p>②①だとするとどの場所か。周辺住民への環境管理上の問題点はなかったか。</p> <p>③嘉手納基地以外の場所での整備だったのか。（県内外か国外か）</p> <p>④③だとするとその場所での継続は可能ではないか。</p> <p>(2) 町当局は代替え案をいくつか提示しているが。</p> <p>①現在の実施計画場所（住宅地に近接 90 メートル）でなければならない絶対的な理由があるのか。</p> <p>②旧海軍駐機場は 2017 年 S A C O 合意から 20 年の歳月をかけて移転が実現した。今回の防錆整備格納庫建設は何が問題なのか。</p> <p>③元駐機場の「パパーループ」は近接する民間地の生活環境改善を前提としての一時的使用となっているがこれが齟齬になるのか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	12 番 金城利幸	3. 基地と地域振興策予算はリンクするか 当山町長の所見を伺う	<p>④③になると旧海軍駐機場と違う新たな再使用形態になるのか。</p> <p>「基地と地域振興策予算はリンクするか」当山町長の所見を伺い「防錆整備格納庫建設断固阻止」への強い姿勢を合わせて伺いたい。</p> <p>2010年（平成22年）当時の鳩山（民主党）政権下の岡田外相発言「普天間基地の嘉手納統合案の再検討」は本町にとって、このような政治環境は戦後最大の危機と位置づけ、強力な阻止行動が早急の責務としての要請行動の結果、統合案の立ち消えとなった経緯がある。</p> <p>その一方で今回の防錆整備格納庫建設問題はさらに日米政府の関係機関の本町の要請に対する説明に不透明感が否めず、その対応に不安と疑義を感じている。</p> <p>こんな不安定な時だからこそ本町の基本的な姿勢を改めて確認し、問題の解決に当たりたいとする視点から振り返り、「基地と地域振興策予算はリンクするか」当山町長の所見を伺い再度の確認を求めたい。</p> <p>2016年（平成28年）に「沖縄の基地と地域振興予算はリンクする」と明言。ところが時間の経過と共に「リンク説」を否定し、政治的な時と場所で言葉を巧みに使い分ける当時の政府首脳と高官。</p> <p>一括交付金の消化率（能力）を根拠に便宜的に使い分ける演出か。本質をどう読むか。戦後長期に渡り基地負担（被害）を負わされてきた嘉手納町民の想いは。</p> <p>これまで国と沖縄の財政関係が「基地とのリンク論」として取りざたされてきたが、しかしこの風説（情報操作）は時代の変節と共に深層が見えてきたと確信する。</p> <p>今回の「防錆整備格納庫建設問題」と「基地とのリンク論」は異次元（無関係）のテーマとして</p>	町長 当山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	12 番 金城利幸	4. 町内介護 通所施設の さらなる実 態把握と適 時支援策を	<p>位置づけ、強い信念をもって「防錆整備格納庫建設断固阻止」に立ち向かわなければならない。 当山町長の力強い所見を伺いたい。</p> <p>全国的にも高齢化社会が進み同時に少子化、核家族化の増加が進み、本町においても特に直近の課題として「老々介護で苦悩する方々」や「独居高齢者の生活・健康の安否状態」が気になる。</p> <p>それだけに近年の入居型高齢者施設・デイサービス施設の増加状況は高齢者やその家族にとって極めて有難い介護支援事業所の進展であると感謝するところである。</p> <p>一方ではコロナ禍の安定改善が見られない環境下において町内外の入居型高齢者施設・デイサービス施設内での利用者や職員の感染が相次ぎ施設運営に苦慮しているニュースが増えている。また身近な介護関係従事者や経営者からも近年にない施設運営の厳しさの事情について聞くことが増えている。</p> <p>去る 8 月 1 日の新聞報道では本町のデイサービス比謝川の里でも利用者や職員の感染で過去 3 度、施設の一時閉鎖を余儀なくされた。「施設の多くでは利益率 1～2%程度がほとんどで仮に 1 か月ほどの業務停止となると利用者控えになり、年間利益が減り減収分回収までに数年かかる施設もある」と苦しい現状報告があった。</p> <p>本年 3 月にも同課題の質問と提言をしているが、介護施設の稼働率は通常 90%だが 3 月時点では 68%まで減少し、県が通所控えを呼びかけたことも要因としているが 9 月時点での状況が気になる。</p> <p>比謝川の里の報道の現状報告を参考に再度、本町内介護施設事業所の経営の実態調査把握と必要に応じての経営支援対応を行う事を提言し以下 4 点を伺う。</p> <p>(1) 国・県の支援事業メニュー。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	12 番 金城利幸	4. 町内介護 通所施設の さらなる実 態把握と適 時支援策を	(2) (1) の実績。(令和3年から直近まで) (3) 町独自の支援事業メニュー。 (4) (3) の実績。(令和3年から直近まで) (5) 本町の関連施設事業所からの要請・相談事案 は。	町長 當山 宏
4	7 番 古謝友義	1. 兼久海浜 公園整備計 画全般につ いて問う 2. 嘉手納町 の観光資源 について問 う 3. 比謝川堰 について問 う	町民にとって兼久海浜公園がどのように変わっ ていくかは非常に関心が高いと思うが、情報が全 く出てこない。そこで以下を問う。 (1) 多目的広場の整備は現状のままで終了か。 (2) 人工ビーチを造る計画はあるか。 (3) ビーチと併設したバーベキュー施設を整備す る計画はあるか。 (4) 多目的広場、ソフトボール場、運動場をセッ トにした大規模な整備計画はできないか。 (5) テニスコートの改修工事は現在地のままでや るのか。 (6) 兼久体育館の工事はいつから始まるのか。 (7) 駐車場の整備計画はつくられているのか。 嘉手納町では第1次、第2次と観光振興基本計 画を策定し、観光客誘致に積極的に取り組んでい る。そこで以下を問う。 (1) 道の駅かでなりリニューアル後、店舗も増えた が観光客の増加はみられているか。 (2) 駐車場は現状で十分足りているか。 (3) カヤック基地は漁港を使用しているが、県と の調整はできているか。 (4) 比謝川自然体験センターを使用してマングロ ーブ林を増やす植林の計画はあるか。 (5) 比謝川遊歩道の整備は計画しているか。 (6) 水釜護岸景観整備計画は継続するのか。 (1) 以前確認したのが令和3年度で撤去を完了予 定だったが、未だ工事が始まっていない。詳し いスケジュールは確認しているか。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	7番 古謝友義	3. 比謝川堰 について問 う	(2) 工事の施工方法は確認しているか。 (3) 火薬類の使用はあるのか。 (4) 工事期間中のカヤック事業に問題はないか。 (5) 工事中の流木等の対応は確認しているか。	町長 當山 宏
5	8番 安森盛雄	1. 働き方改 革の進捗は 2. 教育環境 を問う 3. 地下シェ ルターの検 討を 4. 管理職の 受け答えに 疑義を感じ るが	(1) 町長部局、教育委員会関係の働き方改革にお いての進捗は。 (2) 庁舎内での出退勤の管理は。 (3) 教育部局での現場と内勤の出退勤管理は。 (4) 教員の給与に含まれている残業代は何時間 か。 (5) 3月議会でも質疑された部活指導員について 進捗は。 (1) アフターコロナ、ウィズコロナは児童生徒に も大きく影響をされている状況の中、児童生徒 の接種率は。また、学力の低下が危惧されるが その対策は。 (2) 以前に学級閉鎖した児童を対象に放課後に補 習授業を開催したと聞くが現在は。 (3) タブレットは 100%活用されているか見解 は。 (4) 電子黒板を導入してその経緯と結果は。 防災的見地から防災広場的に地下シェルターを 今後、建築される公共施設に検討できないか。 議員は町民から付託を受けこの場にいると考 えるが、管理職の議員に対しての答弁または、受け 答えに対し真摯に応えているとは到底考えられな い部分がある。副町長はどのように考えるか。	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
6	3番 仲村 一	1. 子供医療 費助成の拡 充を	県は今年の4月から子供医療費を現行の「就学 前」から「中学校卒業」まで拡充した。嘉手納町 においても全国に先駆けて中学校卒業まで医療費	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	3 番 仲村 一	<p>1. 子ども医療費助成の拡充を</p> <p>2. 嘉手納弾薬庫地域に太陽光パネルの設置を</p> <p>3. 桜猫のボランティアを問う</p>	<p>の補助を行ってきた。現在多くの自治体で中学校卒業までの医療費補助を行っている。沖縄県内においても高校卒業までの医療費補助を行っている自治体は 11 市町村に増えており、北谷町においても今年 10 月から高校卒業までの助成をする事が決定した。嘉手納町においても子育て世代負担を減らすべく高校卒業まで拡充する時期に来ているのではないかと考える。本町の今後の予定を伺う。</p> <p>嘉手納町は町域の 80%以上が嘉手納基地に接収され町民は狭歪な地域で暮らしを余儀なくされている。嘉手納町の北東部に読谷村・沖縄市を含めて広大な弾薬庫の地域が広がっている。黙認耕作地として一部使用されているが、まだまだ使われていない広大な土地がある。政府は地球温暖化対策で温室効果ガスを 2030 年までに 50%削減 2040 年までに 70%削減 2050 年までに 0 にするという目標を掲げている。現在各省庁で色々な補助メニューがあるが、そういった補助メニューを活用し、嘉手納弾薬庫地域に基地が解放される間、大規模太陽光パネル発電を設置してはどうかと思うが見解を伺う。</p> <p>現在、西浜区・南区において猫ボランティアの方々が野良猫を保護して虚勢手術を行い、元居た場所に戻すことを行っている。2、3 年前までは病気や怪我をした猫を NPO 法人の方やボランティアの方々が自己負担で行っていたようで、現在は国の補助を受けて行っているようだ。嘉手納町域全体でやるべきだと思うが見解を伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
7	10 番 照屋唯和男	1. 保育所運営計画どのように考えているか	(1) 第三保育所の建て替え計画が進み予定定員数も 110 人から 130 人へと増員され待機児童解消に向けても計画されていると説明を受けたが、将来的に第三保育所と第二保育所を統合して運	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	10 番 照屋唯和男	<p>1. 保育所運営計画どのように考えているか</p> <p>2. 基地被害負担増に繋がる米側の計画等に対して迅速な対応を</p> <p>3. 農業者支援への取り組みを</p>	<p>営する計画があると聞いたが今後どのような運営計画を考えているのか。</p> <p>(2) 町では、「第 2 期嘉手納町子ども子育て支援事業計画」に基づき、待機児童の解消を図るため、認可保育所の定員拡大に取り組んでいる。認可保育所設置・運営事業者の募集締め切り期限が過ぎているが応募状況は。</p> <p>米側の基地内での施設計画に対して町の情報収集はどのように行われているか。これまでもそうであったが、今回も防錆整備格納庫計画が突然出てきたような形で、すでに予算化され文化財調査のための工事と先の計画を示さず偽り事実は町の反対を無視して建設前提の工事であると町に対してだまし討ちのように感じられる。米側のこのような状況を町は把握した、これまで対応、対策をどのように行い今後はどのように取り組むべきと考えるか。</p> <p>6 月定例議会で農業振興への取り組みと農業者の年齢層や後継者育成等について質疑した。高齢になる方々が多数いると、そのことから作物の収穫時に支援していただく若手の労力を必要としていると内容を聞くが、農業者支援隊と農業者への収入に負担が出ないような協力体制の構築ができないか。すでに取り組んでいる市町村もあると聞くが、研究していく取り組みを進められないか。</p>	町長 當山 宏
8	2 番 福地義広	1. 嘉手納基地パパーループ内への防錆整備施設建設計画について	<p>(1) 嘉手納基地パパーループ内への防錆整備施設建設計画について、町の対処方針について伺う。</p> <p>(2) 8 月 5 日全員協議会において、本計画提案に対して建設場所の変更を提案したとの説明があった。これは計画容認の意思表示なのか。</p> <p>(3) 岸防衛大臣は令和 4 年 7 月 19 日記者会見で、本計画について「嘉手納町のスタンスを基本にして米国と調整する」と発言した。これを受け</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 福地義広	<p>1. 嘉手納基地パパープ内への防錆整備施設建設計画について</p> <p>2. 国道 58 号沿いの住宅稠密地域近接地域へのヘリ格納庫及びヘリ駐機場の建設計画について</p> <p>3. PFAS 等による地下水、河川、土壌、人体等汚染状況への嘉手納町の対応について</p>	<p>て、町の対応、国の対応、そして米国の対応はどうなっているのか伺う。</p> <p>(4) 本計画については町、議会、基地対策協議会が計画撤回を求めている。町長も指摘しているように町全体が反対の意志を示している。町民全体を巻き込んだ反対運動、例えば町民大会等の開催が必要と考えるが、町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 本ヘリ格納庫及びヘリ駐機場建設計画へは町・議会が建設反対の意志を表示している。計画の現状について伺う。</p> <p>(2) 防錆整備施設建設施設計画の陰に隠れて、ヘリ格納庫建設について町の対応が弱いように思われるが、具体的な町の対応策、また、国、米軍の状況について伺う。</p> <p>県内における PFAS 汚染状況について、県内では次のような調査が実施されている。</p> <p>(1) 「有機フッ素化合物(PFAS)汚染から市民の生命を守る連絡会」は県内 6 市町村 356 名から血液採取し PFAS 血中濃度調査を実施した。この調査には嘉手納町民 51 名を含む計 387 名が参加した。調査結果は近日中に公表される予定である。</p> <p>(2) 「宜野湾ちゅら水会」は、8 月 15 日に宜野湾市立普天間第二小学校の敷地内土壌を採取し PFAS の汚染状況について調査を実施した。なお、土壌採取には市教育委員会が立会っている。分析結果は 9 月中旬には明らかになる予定である。</p> <p>(3) 嘉手納町内では、平成 28 年度より県による毎年夏季・冬季に河川井戸群等調査が実施されている。この状況については町も把握しているとのことであるが、依然として PFAS が高濃</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 福地義広	3. PFAS 等による地 下水、河川、 土壌、人体等 汚染状況へ の嘉手納町 の対応につ いて 4. 嘉手納町 国民保護対 策本部及び 嘉手納町緊 急対処事態 対策本部条 例について	度で検出されている。 ①これまで町として具体的な対策は取ってこな かったが、市民団体による調査の状況、さら に宜野湾市では調査に地元教育委員会が参加 している状況について町の所感を伺う。 ②(1)(2)において、汚染状況が明らかになった 場合は町として何らかの対策を執る必要があ ると考える。現時点における町の考えを伺う。 (1) 嘉手納町国民保護対策本部及び嘉手納町緊急 対処事態対策本部条例は平成 18 年 9 月 19 日に 制定され、武力攻撃事態等における国民の保護 のための措置に関する法律に基づき、嘉手納町 国民保護対策本部及び嘉手納町緊急対処事態対 策本部に関し必要な事項を定めるとされてい る。有事の際に想定されている、町民保護のあ り方について具体的対応手順等について伺う。	町長 當山 宏
9	1 番 嵩原妙子	1. 道の駅か でなについ て 2. 町内の交 通安全対策 について	4 月 28 日にリニューアルオープンをした「道の 駅かでな」そのスタイリッシュな建築デザインは 我が町の自慢の建物の一つとして、今後の嘉手納 町の観光産業に貢献するものと期待する。リニ ューアルオープンしてまだ 4 カ月と日は浅いが、町 民からの意見、要望等もあり、以下について問う。 (1) 増設工事前とリニューアル後の同じ月のそれ ぞれの来館者数は。 (2) 現時点での問題や課題はあるか。 (3) 駐車場が遠いという声があるが、建物敷地内 に数台でも駐車できるスペースを確保できない か。 (4) せっかくの農産物コーナーが道路沿いからは 目立たないとの町民からの声があるが見解は。 (1) 嘉手納町第三保育所前の町道 65 号は高層住 宅側から町道 50 号へ左折の際、横断中の人が見 えにくく、また横断する人からも右折の車が見	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	1 番 嵩原妙子	<p>2. 町内の交通安全対策について</p> <p>3. 带状疱疹ワクチン接種の助成について</p> <p>4. 3 歳児検診で視覚検査、弱視などの早期発見を</p>	<p>えにくいため危険である。短い横断歩道ではあるが、注意喚起などの対策をとってはどうか。</p> <p>(2) 町道 48 号から町道 39 号(水釜通り)へ車での左折時、右側からの車が見えにくいため、道路にはみ出して確認している。カーブミラーの設置はできないか。</p> <p>町民の皆様の健康寿命の延伸と病気の予防は極めて大事なことであると考えます。しかし、加齢やストレスなどで免疫力が低下した際に、皮膚や神経に炎症を起こす带状疱疹は、幼少期に罹った水疱瘡ウイルスが再び活性化し、主に 50 歳を境に発症率が上昇し、60 歳代から 80 歳代には約 3 人に 1 人が罹ると言われている。発症すると強烈な痛みで日常の生活にも支障をきたす。そこで本町における带状疱疹の状況について伺う。</p> <p>(1) 本町における带状疱疹に罹患した人数を把握しているか。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチンの効能効果をどのように考えているか。</p> <p>(3) 带状疱疹ワクチンの町民への周知、接種の推進は。</p> <p>(4) 带状疱疹に対するワクチン接種費用を全額、または半額助成はできないか。</p> <p>弱視とは目が見えにくい、いわゆる視力が低いと思われているが、医学的には眼鏡をかけてもよく見えていない状態を弱視という。子どもの視力は生後間もない時期はぼんやりと見える程度で、徐々に発達し、ほとんどの子どもは 6 歳ごろまでに完成するそうだ。弱視の割合は 50 人に 1 人の割合でいると言われ、早期発見により治療が可能であると言われている。そこで以下を伺う。</p> <p>(1) 嘉手納町の 3 歳児検診において視力検査はあるか。</p> <p>(2) 昨年発表された公益社団法人日本眼科医会の</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	1 番 嵩原妙子	4. 3 歳児検診で視覚検査、弱視などの早期発見を	3 歳児検診の視覚検査マニュアルの概要を伺う。 (3) 弱視等の早期発見のために屈折検査機器の導入はできないか。	町長 當山 宏
10	4 番 志喜屋孝也	1. 生ごみ処理機キエーロの普及を問う 2. e スポーツから学ぶ新しい教育 3. 嘉手納町の公共施設の温水洗浄便座の設置を問う 4. 町指定ごみ袋をレジ袋に活用	「キエーロ」は、黒土に含まれるバクテリアの力を活かし、生ごみを分解、消滅させる生ごみ処理方法である。 (1) 全国の自治体での普及が進むキエーロについての町の考え方は。 (2) 町としての補助金の考えは。 (3) 現在の生ごみ処理機補助金購入者数とインターネット購入の台数と評価は。 (4) 町内の生ごみの 1 ヶ月トン数は平成 31 年 3 月議会にて 24.6 トンとの答弁があり、現在のトン数は。 (5) キエーロのメリットとデメリットは。 e スポーツに対する町の考え方を伺う。 (1) e スポーツとは。 (2) e スポーツに対する町や教育委員会の考え方は。 (3) ネットゲームの依存症の子ども達の状況は。 (4) e スポーツのメリットとデメリットは。 (5) e スポーツに対する他市町村の動向は。 (1) 町内の小中学校の設置状況は。 (2) 小中学校の和式と洋式の数は。 (3) 本町・自治会・指定管理施設の状況は。 買い物をする際は、エコバック（マイバック）持参を推奨しているが、忘れた時に町指定ごみ袋（可燃ごみ用）をレジ袋として使用していただく	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	4 番 志喜屋孝也	4. 町指定ごみ袋をレジ袋に活用	<p>取り組みを始めた自治体があり、サイズも豊富で1枚から販売可能である。</p> <p>(1) 町としての考えを伺う。</p> <p>(2) スーパー、ホームセンター、コンビニや、町内の商店街にも提案し、レジ袋の削減を図れないか。</p> <p>(3) 嘉手納町、読谷村、北谷町などと提携し、町、村指定ごみ袋（可燃ごみ用）のコスト削減の考えはないか。</p>	町長 當山 宏
11	13 番 奥間常明	1. 西浜区に児童館を	<p>平成 22 年定例会において、西浜区に学習等供用施設児童館建設を提案した。それに対する答弁は「教育委員会としても子ども達の安心、安全な居場所として町内に均衡のとれた施設を配置することは理想的な子育ての環境づくりとは思いますが、現実論として即建設の検討となると、場所、予算、運営方法等、条件整備に大変難しいものがある。</p> <p>そこで、今、我々が教育の支援としてできることは何か地域関係機関を含め、調査研究してまいりたいと考えている。」あれから 12 年、地域のニーズの声は高まるばかりで、他の議員からも質問されている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 場所、予算、運営方法、地域関係機関等について、どのような調査研究がされてきたか、詳細な説明を求める。</p> <p>(2) 当時は、生涯学習課長が答弁した。今は、子ども家庭課長が答弁されているが、事務分掌の変更理由は。</p> <p>(3) 第三保育所建替えに伴い、敷地内駐車場に建設する案が提示されたが、面積から果たして可能か。</p> <p>(4) 兼久体育館内設置案も非公式に聞いたりするが、その真意はいかなものか。</p> <p>(5) 防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律施行令で、子育て支援の総合的な推進を図るために必要な施設とある。ならば、西浜区の遊</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	13 番 奥間常明	1. 西浜区に 児童館を 2. 西浜区自 主防災とし て	<p>休化している遊興娯楽施設用地を、前向きに検討してはどうか。</p> <p>(6) 最後に、行政として、本当にやる気があるのか、いつまでも思わせぶりの答弁はらない。やるのか、やらないのか、または、やる気があるのか、ないのかははっきりしていただきたい。</p> <p>2018年に沖縄地方とその周辺で観測された地震は、マグニチュード0.5以上が2万4,279回に上る。震度1以上は、都道府県別では、12番目に多かった。沖縄气象台によると「今後も活発な地震活動の可能性がある」「強い揺れや津波から命を守るために、日頃から備えてほしい」と呼び掛けている。また、沖縄トラフの拡大もあって「全体的に見ると、地震活動が活発な地域」という。「自然災害の多い場所に住んでいることを日頃から意識し、備えてほしい」と呼び掛けている。さらに、台風による高潮対策は最重要課題である。防災の観点から、早急な情報の収集と迅速な避難が大切と考える。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 西浜区一部地域において、行政無線放送の音が聞き取りにくいとの声があるが。</p> <p>(2) 水釜6丁目地域(海拔2メートルから2.2メートル地帯)の防災用戸別受信機の設置状況は。</p> <p>(3) 災害から身の安全を守る上で、防災用戸別受信機設置は、戸別訪問してでも設置していただくべきと考える。啓蒙活動等についてはどのように考えているのか。</p> <p>(4) 停電時に備えて、避難所施設内に発電機の常備は、東日本大震災時に教訓として、生かされている。特に長時間、大容量のLPガス燃料発電機が開発されたが、どう考えるか。</p>	町長 當山 宏
12	14 番 田崎博美	1. 後期高齢 者医療制度 の運営状況、	(1) 健診受診率の推移について。 健診受診率の分母及び現在も治療を受けていたり、介護保険を利用していたり、また介護も医	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	14 番 田崎博美	後期高齢者 医療制度の 動向について	<p>療も受けていない被保険者もいる。それらの方を全てひっくるめて単純に受診率を出しているように思われるが、他保険者もこのような算出法となっていると理解していいか伺う。</p> <p>(2) 一部負担金の割合について。 一部負担金の割合が 2 割だと、一度の受診で 2 倍の額を窓口で支払うので被保険者の負担は大きい。また、保険料についてはいつまで上がり続けるか、さらには後期高齢者医療制度はいつ破綻するのかご見解を伺いたい。</p> <p>(3) 健診受診率の地域差制度の周知広報について。 健診受診率の地域差が大きい。数字の高いところは、何か特別な取り組みや努力をされていると思う。そういった成功事例や努力を参考に示して行ってほしいが、いかがか。</p> <p>(4) ジェネリック医薬品の普及、後発薬の飲み残しについて。 ジェネリック医薬品の活用は一保険者だけでなく、県全体で取り組まなくてはならない。嘉手納のジェネリック推進率は県下でも低い方であり、もっと進めていかねばならない。ジェネリック医薬品は昔は、「パッチもん」といったほどで、イメージもまだまだ悪いところがあるので、広報に今一度力を入れるべきと思われるがいかがか。</p> <p>(5) 健診受診勧奨の手法について。 治療中の医療機関で、すでに検査を受けているから健診を受けないという方が多いのであれば、レセプト情報を使って生活習慣病の治療中の方を除くなど、セレクトして健診の受診勧奨をすれば、被保険者にとっても嬉しいだろうし、保険者機能の向上といった観点からも効果的ではないか、ご見解を伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	9 番 新垣貴人	<p>1. ICT環境の充実について</p> <p>2. 屋良東部地区地域振興施設について</p> <p>3. 高齢者外出支援タクシー料金助成事業について</p> <p>4. 公共交通網の整備について</p>	<p>ICT支援員配置の予算が、削減されている。支援員は、GIGAスクール構想の推進に必要な。補正予算で支援員配置の予算計上を求めるが見解は。</p> <p>(1) 県道 74 号線沿いの壁面に誘客を促す壁画を描いてはどうか。</p> <p>(2) 施設と駐車場間には道路があるが、横断歩道の設置がなされていない。交通安全対策上、設置ができないか。</p> <p>(3) 金融機関のATMの誘致ができないか。</p> <p>(1) 利用実績は。</p> <p>(2) どのような用途で利用されているのか。</p> <p>(3) 実証実験の結果について見解は。</p> <p>(1) 町内巡回バス導入を提案するが見解は。</p> <p>(2) 鳳バスの嘉手納町への延伸を、読谷村と協同で実施できないか。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
14	6 番 宇榮原京一	1. 商店街の活性化を促す	<p>商店街の活性化の質問については、これまで他の議員からも行われてきた。しかし抜本的な方針、対策、手法は形として見えず、にぎわいの雰囲気さえ感じない。空き店舗が減り、居酒屋等は人が増え、にぎわいが出てきたなどの話は聞くが、町全体のにぎわいのある町としては乏しいと感じる。</p> <p>道の駅がリニューアルされ、観光拠点施設として活用する。比謝川自然体験センターも同様な目的で建設され、長期にわたり計画実施、建設されたこの施設も町全体の起爆剤として活用させるべきだ。このことは誰もが認識しており、当然の事と考えている。しかし形として見えず雰囲気としても感じられない。コロナ感染拡大の終息が見え</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	6 番 宇榮原京一	<p>1. 商店街の活性化を促す</p> <p>2. 粗大ごみ収集業務について</p> <p>3. 中学校部活動の地域移行への準備は</p> <p>4. 青少年センターの人員体制について</p>	<p>ない状況の中、行動自粛などでイベントや集客行事などが行われず「コロナ」だからしかたがないなどの現状がある。大型店舗や居酒屋等は、なじみの客でどうにか経営が維持されている感があるが、コロナ禍の現状だからこそ今できること、これからの活動を思案すべきだと考え、町行政、商工会、観光協会ならびに関係団体に対し、提言と意識を促したい。</p> <p>(1) 町行政の見解は。</p> <p>(2) 道の駅から商店街への誘客はどのように。</p> <p>(3) 比謝川自然体験センターから商店街への誘客はどのように。</p> <p>(4) 受入れる商店街の取り組み、雰囲気づくり等は。</p> <p>(5) 観光ガイドの活用は。</p> <p>(1) 現在の粗大ごみ収集業務状況は。</p> <p>(2) 高齢者世帯の粗大ごみ出しの相談、問合せは。</p> <p>(3) 指定ごみ袋に入らない、小さな物や衣装ケース、プランター等、粗大ごみをいくつかまとめて1点として出すことができないか。</p> <p>(4) 不法投棄の現状は。</p> <p>令和2年9月1日、文部科学省より発表された「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の中で、学校と地域が協働・融合した部活動の具体的方策とスケジュールが明示されている。これに対する本町の部活動地域移行への現在の取り組み、今後のスケジュールと課題等について伺う。</p> <p>青少年の健全育成のため、家庭、学校、警察等関係機関、団体及び地域社会との有機的連携によって、青少年に対する総合的な相談、指導助言等の諸活動を行う中で人員体制、役割について再度確認をしたい。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

